

令和5年度教員活動状況評価結果について

令和6年10月11日

○本学教員活動状況評価に関する規程 及び 同実施細則に基づき、教員活動状況評価を実施しました。
当該評価の集計結果は、以下のとおりです。

◇評価結果

【総合評価】

	全学	
S	18	(9.4%)
A	44	(22.9%)
B	123	(64.1%)
C	5	(2.6%)
D	2	(1.0%)
計	192	

【領域評価】

＜教育＞

	全学	
A	51	(27.4%)
B	123	(66.1%)
C	11	(5.9%)
D	1	(0.5%)
評価対象外		
計	186	

＜社会活動＞

	全学	
A	43	(23.1%)
B	125	(67.2%)
C	13	(7.0%)
D	5	(2.7%)
評価対象外		
計	186	

＜センター等業務(コーディネート)＞

	全学	
A	3	(100.0%)
B	0	(0.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	3	

＜センター等業務(調査研究・研究開発等)＞

	全学	
A	1	(20.0%)
B	4	(80.0%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	5	

＜研究＞

	全学	
A	56	(29.9%)
B	98	(52.4%)
C	25	(13.4%)
D	8	(4.3%)
評価対象外		
計	187	

＜管理・運営＞

	全学	
A	46	(26.0%)
B	126	(71.2%)
C	5	(2.8%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	177	

＜センター等業務(学生指導・学生支援等)＞

	全学	
A	3	(42.9%)
B	4	(57.1%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	7	

＜センター等業務(企画立案・管理運営等)＞

	全学	
A	5	(38.5%)
B	8	(61.5%)
C	0	(0.0%)
D	0	(0.0%)
評価対象外		
計	13	

(単位:人)

※端数処理の都合上、各評価の割合の合計が100%にならない場合がある。

(評語等の説明)

- S:活動状況が極めて良好である
- A:活動状況が大変良好である
- B:活動状況が良好である
- C:活動状況がやや不十分である
- D:活動状況が不十分である

※領域評価において採用期間や教育免除等の特段の理由がある場合、「評価対象外」としている。

◇評価対象者

専任の教授、准教授、講師、助教
※学部長・学環長を含む。

※採用から3年未満の教員について、配置が学部の場合は学部長、全学センター(学環を含む)の場合は学長が指名する者が学長の下承を得て、本評価の対象者から除くことができる。ただし、年俸制給与規程の適用を受け在職期間が1年以上の教員については、対象とする。

◇評価項目

教育、研究、社会活動、管理・運営の各領域

※ただし、教員の職務内容の特殊性を鑑み、全学センターの教員及び学部の一部の教員に限り、以下の領域に全て又は一部を差替えることができる。
(細則第5条第1項)

センター等業務(コーディネート)、センター等業務(学生指導・学生支援等)、
センター等業務(調査研究・研究開発等)、センター等業務(企画立案・管理運営等)

◇対象期間

教育、社会活動及び管理・運営領域・・・過去3年
研究領域・・・・・・・・・・・・・・・・過去5年
各センター等業務・・・・・・・・過去3年